

授業科目名	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 (Studies of Extraclass Activities and the Period of Integrated Study)		
科目番号	95200(産業技術学部) 85200(保健科学部)	授業形態	講義
単位数	2単位	履修年次	3年次
教員の免許状取得のための必修・選択	必修	受講対象	産業技術学部 保健科学部
担当教員(研究室)	相賀 由美子 (非常勤講師)		
実務経験のある教員による授業科目	中高において特別活動及び総合的な学習の時間の指導経験がある教員が、その経験を活かして指導することで、学生は具体的な指導方法について学ぶことができる。		
免許法施行規則に定める科目区分等	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 総合的な学習の時間の指導法、特別活動の指導法		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間及び特別活動の意義、目標、内容を理解する。 ・総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力を身に付ける。 ・総合的な学習の時間及び特別活動の指導と評価の考え方、実践上の留意点を理解する。 ・特別活動における合意形成、意思決定につながる話し合い活動の指導の在り方を理解し、その基礎的な能力を身に付ける。 		
授業概要	総合的な学習の時間及び特別活動の意義・目標・内容・留意事項などについて学習指導要領に基づき確認する。その上で、総合的な学習の時間は、評価を念頭に置いた単元計画を個々が作成し、そのプレゼンテーションを通して互いに考察をする。また特別活動は、話し合い活動の指導を想定した役割演技を通して互いに考察する。このような具体的な事柄に関する学生主体のアクティブラーニングを採り入れることで、実践的な知識と技能を獲得する。		
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修:授業前に、2時間程度の時間を要して、配布資料の下調べをする。 事後学修:授業後に、2時間程度の時間を要して、レポートを作成する。		
授業計画	第1回:総合的な学習の時間の意義と教育課程において果たす役割、育成される資質・能力の理解 第2回:学習指導要領における総合的な学習の時間の目標、内容の理解、カリキュラムマネジメント 第3回:総合的な学習の時間の年間指導計画、単元計画の作成、学習指導案の書き方、評価方法およびその留意点の理解 第4回:思考技法に関して 第5回:総合的な学習の時間の具体的な授業設計(アクティブラーニング) 第6回:各授業設計のプレゼンテーション 第7回:プレゼンテーションの改善点に関するディスカッション 第8回:特別活動の基本事項:位置づけと意義、目標、主な内容、教科等との関連、評価 第9回:学習指導要領に示された特別活動における「望ましい集団活動」について考察 第10回:ホームルーム・学級活動について学び、具体的な学級会活動を構想して発表 第11回:児童会・生徒会活動について学び、具体的な学級会活動を構想して発表 第12回:学校行事の特質の理解:、取組の評価・改善活動、家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方の理解 第13回:「部活動の在り方」をテーマに合意形成、意思決定につながる話し合い活動の指導を想定した役割演技、教師のファシリテーターとしての役割を考察 第14回:日本の「総合的な学習の時間」と「特別活動」を合体させたようなドイツの取り組みをテーマにして今後の日本の課題について考察する		

	<p>第 15 回:総合的な学習の時間と特別活動の要素を取り入れたクロス型指導計画案を構 想して発表する 期末試験:実施しない</p>
テキスト	<p>中学校学習指導要領 高等学校学習指導要領 中学校学習指導要領解説 特別活動編 中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編 高等学校学習指導要領解説 特別活動編 高等学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編</p>
参考書・参考資料 等	<p>必要に応じて、適宜、指示する。</p>
成績評価方法	<p>総合的な学習の時間に関するレポート・提出物50%、特別活動に関するレポート・提出 物50%による総合評価</p>
成績評価基準	<p>A+:到達目標を達成し、特に優秀な成績を修めている A:到達目標を達成し、優秀な成績を修めている B:到達目標を達成し、良好な成績を修めている C:到達目標を最低限達成している。 D:到達目標に達していない</p>